



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 川口登志雄
幹事 鈴木 正人
SAA 赤津 善宣
会報小委員長 嵐 繁雄

◎例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
◎例会場 ホテルミドリ 〒974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

第 2590 回 例会 平成 27 年 3 月 4 日 (水・晴)

2014~2015年国際ロータリーのテーマ

会員卓話

内藤 勉 会員

◎会長報告 - 川口登志雄会長



皆さん、今日は。三寒四温と申しますこの季節ですが、これから少しずつ春に近づいて行くと思います。ただ、先日もお話をしました。季節の変わり目というのは体調を崩し易いと思いますのでご自愛をお願い致します。3月1日は別れのシーズンと言われております。3月1日は高校の卒業式、13日中学校、23日は小学校と続き、またその間に専門学校、大学、幼稚園、保育園等の卒業式がございます。別れがあれば出会いがありますが、我々花屋さんにとって大変忙しい月で、この間に春のお彼岸が18日にあり何かと気忙しい3月でございます。また、3月14日に開催予定の「早春の講談と落語の集い」というプロジェクトの整理券が余っているようなので是非各クラブで全て配付するように務めて下さいと連絡がありました。皆さん宜しくお願い致します。私からは以上です。

◎幹事報告 - 鈴木正人幹事



・只今閲覧しておりますが北茨城ロータリークラブより週報が届いております。いわき桜ロータリークラブ、いわき平東ロータリークラブより3月のプログラムが届いております。ご覧下さい。

・第 2530 地区の地区大会の参加者が決まりました。

君が代

ロータリーの目的 川口登志雄会長
- 今月は識字向上月間です -

当クラブから 25 名の参加で登録料の手続きも金成事務局から申請が先週終わっております。大会が近づきましたお知らせ致します。

・勿来ロータリークラブと東京江戸川ロータリークラブの合同親睦大会が来月4月9日(休)に決まりました。小熊会員より改めて会員の皆様にファックスが届くと思いますので出欠の返事をお願い致します。

・今会長からお話がありました「講談・落語の会」の参加協力ということで3月14日(日)いわき文化センターで14時30分から開催されます。チケットがまだありますので出来るだけご参加をお願い致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 富岡小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会



- 小熊小委員長
・テーブルの席順が変わりました。会員同士の懇親がますます深まりますように宜しくお願い致します。金成、小熊各会員及び渡邊公平バスタガバナー、川口会長、鈴木幹事

・誕生祝ありがとうございました。

押田、木幡、富岡、吉野、内藤各会員

・前回休んでごめんなさい。

遠藤、山下、田子、中野、佐藤(英)、鈴木(孝)



各会員

・本日早退ごめんなさい。

荒川(義)、荒川(清)各会員

◇親睦活動委員会 - 山下小委員長



前回は皆様にご案内を申し上げます。日時は4月19日(日)で出欠確認のメ切りは4月1日ですので宜しくお願い致します。続いて誕生祝を差し上げたいと思います。名前を呼びますので前の方へどうぞ。押田会員、富岡会員、吉野会員、内藤会員、木幡会員おめでとうございます。なお、押田会員は傘寿の80歳になられました。誠にめでたうございます。



◎会員卓話 - 内藤 勉 会員



日本製紙の震災復興について

東日本大震災から4年を迎えるに当たり、日本製紙の被災状況と復興について述べたいと思いますのでよろしく願います。

私は、当時、北海道の釧路工場長でした。釧路は震度4で、津波も沿岸部で被害は出ましたが、人的被害はそれほど大きなものではありませんでした。直後に、宮城・福島被災工場に対する支援体制を組み、工場に備えていた非常用の水、食糧、毛布などをトラックに積み、第一陣を出発させたのですが、函館に出るまでに10時間、フェリーを待つこと4時間、最初は青森にも着かなかったため、秋田に回って、陸路を6時間、やっと宮城に入りました。勿来にも寄る予定でしたが、通行規制がされており行けませんでした。物資を、岩沼、石巻に下し、帰りに釧路出身の勿来の従業員の家族を乗せて、釧路に帰りましたが、当時の惨状、匂いは今でも忘れることができません。石巻工場の復興については、早川書房から佐々涼子氏により『紙つなげ! 彼らが本の紙を

造っている』という本になり、またこれを原作に池上彰氏の番組で寺脇康文主演のドラマ化され昨年末放映されました。



一方、勿来工場については、津波被害よりは4月11、12日の地震被害の方が大きかったとの報告を受けましたが、それ以上のことは認識がありませんでした。昨年、当地に着任し、いわきの沿岸部を改めて見ると、いわきの被害も大きかったことを認識した次第です。しかし、私も含めて日本国民全体が、宮城や岩手の被害の大きさは知っていても、福島と言え地震・津波よりは原発事故の方がクローズアップされるので、いわき・北茨城の被害はあまり知られていないのではないのでしょうか。

勿来工場は地震により倉庫の製品が崩れたり、柱が座屈し大きな被害を受けました。震災後2カ月でとりあえず復旧しましたが、今なお、建屋の柱にひびが入っていたり、埋設管から水が漏れるという状況が続き、修復の途中です。

震災直後に出された当社の復興計画として、全社的に生産量と従業員を大幅に削減しました。その結果、企業活動はできるようなりましたが厳しい状況には変わりありません。更には、少子化、ITC化などで印刷用紙の需要が減退し、また昨今の原材料高騰から今なお日本の製紙業界は、厳しい経済環境に晒されています。日本製紙勿来工場も、生き残りをかけて向こう3カ年の新しい中期経営計画を実行し、雇用と地元への貢献を続ける所存です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



出席状況	正会員数	50名	本日出席会員数	37名
	本日の出席率	74.00%	修正出席率	84.00%